

しまおか 市議会だより

Shizuoka City Council News

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html

令和4年11月定例会号[No.85] 発行日/令和5年(2023年)2月1日

市議会議員と話そう！ 高校生との意見交換会開催

静岡市議会では若者の声を聴くため、高校生との意見交換会を行っています。4年度は、11月、12月に6校の生徒さんと、それぞれの学校から提案のあったテーマについて、活発な意見交換が行われました。



静岡北高校
11月2日開催

静岡市の人口減少を
食い止めるには

◆ 大学で県外に出ていく人が多い。静岡に戻ってきたいと思える街にしなければならぬ。
◆ 就職先の企業があることが重要だが、若い世代は地元企業を知らない。企業のPRをもっとした方がよいのではないか。市内の企業を増やすことも必要。
◆ 最近の若者は結婚にメリットを感じていない。お金もかかるし、自分の時間が無くなる。特に女性はメリットを感じられないのではないか。住宅費を支援する制度があるとよい。



静岡県立清水南高校
11月17日開催

自然災害への対策

◆ 全ての人に行き渡る情報が必要。また、市の公式LINEがあまり知られていないのではないかと。最近はいんスタグラムが主流。
◆ 休校になる学校もあり、災害が起こった後の教育の補償が気になる。
◆ 災害後の教育支援はあった方がよい。
◆ まずは、自分の家がどういう対策をしているかを知る。足りない所を追加していくことが大切。
◆ 備蓄が必要。我が家は、太陽光発電パネルの設置を考えている。



静岡県立静岡商業高校
11月18日開催

静岡市のこんな素敵なところは何だろう
〜日本に誇れる静岡市のために〜

◆ 都会でも田舎でもないのが丁度よい。豊かな自然、地域の人の関わりが深い。これは静岡ならではのことだと思う。
◆ 海山川が揃っている。アウトドアや自然好きな人にアピールできると思う。
◆ 海の幸が有名と感じるが、山の幸の認知度はどうやって伸ばしているのか。
◆ 日本平の坂道はロードバイクを趣味とする人に人気。県外から来ている人たちもいる。道幅が整備されればもっと来てくれると思う。



今回試行として、11月17日開催の清水南高校では中等部の生徒も参加をしました。

12月に開催した3校の様子については7面をご覧ください。

11月定例会日程

11月24日	本会議(開会)	会期決定、人事案件上程～表決、議案上程・説明
12月2日、5日、6日	本会議(総括質問)	議案及び市政全般について質問、委員会付託 追加議案上程・説明・質疑・委員会付託
12月8日、9日	常任委員会	議案等審査
12月16日	本会議(閉会)	議案上程・委員長報告・質疑・討論・表決

目次

高校生との意見交換会、日程	1面
11月定例会あらまし、主な議案など	2面
代表質問	3面
個人質問など	4、5面
常任委員長報告、賛否一覧	6面
高校生との意見交換会、次回定例会日程など	7面

11月定例会のあらまし

令和4年度補正予算を可決

令和4年11月24日から12月16日までの23日間にわたって、11月定例会を開催しました。

定例会では、台風15号被害への対応と原油価格・物価高騰等対策に要する経費などを計上した令和4年度一般会計補正予算、静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定についてなどの議案40件、請願2件を審議しました。

12月16日の本会議最終日には12月8日、9日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され（6面掲載）、表決の結果、市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決、議員発議による議案を賛成少数で否決しました（7面掲載）。

タブレット端末を活用したペーパーレス会議を試行

本定例会から、タブレット端末を活用したペーパーレス会議の試行を開始しました。タブレット端末で、電子化した議案等を閲覧することにより、スムーズな会議運営と紙資料の削減ができるようになりました。試行期間後の5年度からペーパーレス会議の本格実施を目指します。



タブレット端末を使用した本会議の様子

主な議案

11月定例会で審議した
主な議案の概要は
次のとおりです。



補正予算の概要



議案

令和4年度 静岡市一般会計補正予算 (第6号)

被災住宅応急修理事業 (5億8,800万円)

台風15号により被災した家屋について、災害救助法に基づき必要最小限度の応急修理を市が直接実施する予算を増額するもの。

省エネ家電購入促進事業 (1億3,500万円)

省エネ性能に優れた家電の購入を助成する事業について、当初の想定以上の申請に対応するため予算を増額するもの。

総合計画

静岡市基本構想、基本計画について

静岡市自治基本条例第15条第1項の規定に基づき、本市基本構想及び基本計画を議会の議決を経て定めるもの。

基本構想は「市民（ひと）が輝く」「都市（まち）が輝く」の2つの要件を兼ね備えたまちを定義とし「世界に輝く静岡」の実現」を目標に掲げている。

基本計画は、基本構想に基づき、5年度から12年度までの8年間に実施する政策や施策の体系を明らかにし、具体的な事業展開の方向性を示すもの。

条例の制定 静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定について

良好な生活環境を確保するための支援及び措置に関する必要な事項を定めることにより、市民が安全かつ安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するため、本条例を制定するもの。

令和4年度 静岡市一般会計補正予算 (第7号)

農地災害復旧事業(7億2,310万円)

被災箇所…わさび田13か所、茶畑24か所、果樹園16か所、その他9か所
実施内容…土砂撤去、原形復旧、測量設計



被災した農地(わさび田)

出産・子育て応援給付金給付事業 (4億7,250万円)

すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施するもの。

デジタル社会推進特別委員会が 提言書を提出しました

デジタル社会推進特別委員会が令和4年10月25日に田辺市長に提言書を提出しました。提言書には、行政のデジタル化推進に必要な予算措置、推進体制強化及び人材の育成、台風15号の被害で課題が浮き彫りになった災害時情報の集約と発信の強化の3つの提言をまとめました。行政による機動的かつチャレンジ的なデジタル施策が次々と打ち出されることで、市民が早期にその利便性の向上を感じることをできるよう要望しました。



まちづくり拠点調査特別委員会 で講演を聞きました

令和4年11月14日に開催したまちづくり拠点調査特別委員会では、深澤陽一衆議院議員を講師に迎え、駿河湾スマートオーシャン構想について講演いただきました。講演では、AIや脱炭素などの技術を活用し問題解決を図るスマートオーシャンの説明や清水港の海洋研究拠点としてのポテンシャルの高さなどを紹介いただきました。



深澤陽一衆議院議員

代表質問

令和4年12月2日、5会派が代表質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。代表質問は4人以上の所属議員を有する会派が行うことができます。

自由民主党 静岡市議会議員団

人口活力の 向上に向けた取組

Q 令和2年の国勢調査で、本市の人口は70万人を下回る結果となった。4次総では、交流人口や関係人口にも着目し、人口70万人の維持にかわる目標として、人口活力の向上を掲げているが、人口減少社会の中で、人口活力を高めることは容易なことではなく、目標を達成できるか否かが、本市の発展を左右する極めて重要なことであると考え。目標を達成するため、4次総ではどのような施策に取り組むのか。



繁田 和三 議員

A 4次総では、定住人口の減少を抑える取組に加え、交流人口の拡大と関係人口の創出を一体的に推し進め、人口活力の向上を図り、経済の活性化や地域課題の解決などにつなげる。交流人口では、アートとスポーツを活かしたまちづくりなどを、関係人口では、テレワークの推進、首都圏での本市のファンづくりやシティプロモーションなどを、実施計画に位置付ける。

創生静岡

4次総における 子育て支援策

Q 会派の5年度政策提言書では、三本柱の一つに人への投資を掲げ、子ども子育て新制度の拡充を最重要施策と位置付けた。4次総において、子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進を第一に据えて強調したことは、人口減少対策の一步と評価する。一方、8月のパブリックでは子育て政策への期待が大きく、先進市の取組と比べ、本市の遅れを指摘する声もあった。4次総における子ども・子育て支援の政策について、どのように



白鳥 実 議員

進めていくのか。
A 子ども・教育分野では、①自らの力で豊かな未来を切り拓くことができる子ども・若者の育成、②誰一人取り残されず成長できるような支援、③子どもを産み育てやすいまちづくりの推進、④信頼される保育・教育環境づくりの推進の4つの政策に取り組む。さらに、先進市の事例を参考に、安心して子供を産み育てられる環境づくりを総合的に充実させる施策を検討する。

志政会

4次総と駿河湾スマート オーシャン構想

Q 3次総では海洋文化のまちづくりを進めてきたが、4次総は、清水港に集積する地域資源を活かし、海洋産業や海洋研究が発展するとともに国内外の人が交流し賑わう国際拠点港湾の清水港を中心とした海洋文化都市を目指すと言われて。特別委員会において、駿河湾スマートオーシャン構想の講演を聞き、夢のあるオンラインワンの構想であり、4次総に沿ったものである



宮城島 史人 議員

と確信したが、この構想についてどう考えるか。
A 本市が取り組む海洋文化の拠点づくりと同じ方向性であり、構想の更なる具体化の動きに応じて、4次総の取組と連携を図るとともに、海洋文化の拠点づくりを海洋・地球環境というグローバルな課題解決にも貢献させるなど、世界に清水港の存在感を示す一つのきっかけとして、大いに活用していく。

公明党静岡市議会

老朽化が進む 市営住宅の建替え

Q 4次総期間中に築60年、70年を迎える市営住宅等の施設が複数ある。長寿命化にも限界があり、建替えには時間とコストを要するため、計画的なアセットマネジメントの取組が必要と考える。公共建築物の耐震対策の現状によると、葵区中心市街地に昭和20年代建築の市営住宅が存在し、老朽化が進行している。これら市営住宅の建替えをどのように進めていくのか。



井上 智仁 議員

A 老朽化が進む市営住宅は、葵区中心市街地にあり、優先的に建替えを進める必要がある。建替えに伴い、入居者の一時的移転が必要となることから、解体を進めている堤町団地内に市営住宅を新設し、入居者の一時移転を進め、老朽化が進む市営住宅の建替え等を順次進める。

日本共産党 静岡市議会議員団

専門家の意見を取り入れた 浸水対策

Q 台風15号により巴川流域では浸水被害が発生し、清水地域の主要河川全てで大変な状況に陥った。国土交通省によると、令和3年までの30年間で一時間雨量が80ミリを超える短時間強雨の発生回数が1.7倍に増加していることから、今回のような被害を二度と起こさないよう、一日も早い対応を求め。今後、浸水対策を検討する上で、専門家の意見を取り入れて対策を



内田 隆典 議員

講じていく必要があるが、どう考えるか。
A 巴川流域の河川や下水道施設の整備を進めてきたが、対策が完了した地区でも浸水被害が発生した。このため、新たな対策や地区の追加などを見直す必要がある。見直しを進める上では、今回の豪雨等を踏まえて整備水準や効果的な対策等について、専門家の意見を聞きながら検討していく。

語句説明

駿河湾スマートオーシャン構想

駿河湾に、国際的な海洋研究・教育文化拠点を核に、研究リゾート機能も有する「国際海洋連携中枢都市圏」を形成することを目指す構想。

静岡県選出の国会議員による「駿河湾スマートオーシャン議員連盟」が提唱している。



ホームページで配信映像をご覧いただけます。

個人質問



令和4年12月5日、6日の2日間、13人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

会派

※4面以降会派名は略称で表示しています。
自民党＝自由民主党静岡市議会議員団(22人)
創生静岡(8人)、公明党＝公明党静岡市議会(6人)
志政会(6人)
共産党＝日本共産党静岡市議会議員団(4人)
緑の党＝緑の党グリーンズジャパン(1人)
街づくり研究会(1人)

語句説明

検討委員会
「サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」のこと。静岡市附属機関設置条例に基づき、令和4年4月1日に設置。市のまちづくりに資するサッカースタジアム等について調査審議する。

検討委員会のスタジアム候補地の評価

質問者 児嶋 喜彦(志政会)

Q 365日人を集めるためには、試合が開催されていない時にどれだけ市民に来てもらうかが重要であり、まず併設施設全体で稼働率を上げる工夫が必要となる。候補地の一つであるJR清水駅東口のエネオス社の土地は、まちづくりや交通アクセスなどについて、検討委員会でのように評価されているか。

A 当該土地は、公共交通のアクセスに優れ、周辺地域の活性化が期待できる。一方、土壌汚染の可能性、防災や騒音・交通渋滞等の多数の課題があるため、対応やコストを検証する必要があると評価されている。

次期静岡市スポーツ推進計画の策定

質問者 市川 正(共産党)

Q スポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利とされており、そこに暮らす人が健康で生き生きとした生活を営めるよう、施策を講じることがスポーツ基本計画の原点であると考えます。次期静岡市スポーツ推進計画は、スポーツ基本法をどのように踏まえて策定していくのか。

A 次期計画では、基本法の前文を踏まえた基本理念を掲げ、「する」スポーツだけでなく、「スポーツを「みる」視点、「支える」視点も含めた「静岡型スポーツ・イン・ライフ」をスローガンとして、さらなるスポーツの推進を図るよう策定作業を進めている。

清水地区の新たな水源確保

質問者 山梨 渉(公明党)

Q 台風15号での断水を受け、北部・南部ルート、工業用水、八木間ポンプ場などを活用する方策がとられた。清水地区の水源は承元寺取水口に大きく依存しており、災害時や渇水時への対応を含めた観点から、安定的な新たな水源の確保を検討しなければならぬと考えるが、どのように進めるか。

A 地下水利用や北部・南部ルートの増強、取水口の複数化など新たな水源の検討を進める。整備方針については、学識経験者などで構成される検討会で議論し令和5年内に複数の対策案をとりまとめる。この対策案を、上下水道事業経営協議会でさらに審議し、6年度の早い時期に、最適案を決定していきたい。

災害情報の収集・発信

質問者 浜田 佑介(創生静岡)

Q 災害後、被災住民にとって一番辛いことは世間から忘れ去られることである。被災住民や関係者が情報を集める負担を減らすために、市からの積極的な情報発信が必要であり、災害現場の情報収集・共有が欠かせないが、台風15号における対応は不十分だったと言わざるを得ない。情報の収集・発信についてどのような見直しを考えているか。

A 市民が知りたい情報を一元的かつ総合的に知ることができる災害時総合情報サイトを早期に構築し、同サイトを各部署が連携して運用するためのルール作りや職員の配備体制を再編成することで、迅速な情報の収集と発信ができるよう取り組む。

災害時における電動車の活用と企業連携

質問者 石井 孝治(創生静岡)

Q 災害時の非常電源としての電動車の活用は、今後ますます拡大していく。県内でも自動車会社と災害協定を結び、災害時に避難所へ電動車の無償貸与を実施している市がある。災害時に電動車を電源供給車として活用できるよう、企業との連携をどのように進めていくのか。

A 市内のFCV保有の複数企業と災害時等における利用について協定を締結しており、また、FCV普及に向けた覚書を締結して非常用電源として活用できる車両の無償貸与も受けている。今後は、自動車販売事業者等、より多くの企業と連携体制を構築できるよう取り組んでいく。

語句説明

スポーツ基本法

スポーツに関し基本理念を定め、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与することを目的とする。

カトリック清水教会の保存と活用

質問者 堀 努(自民党)

Q カトリック清水教会は歴史的・文化的価値が高いかけがえない地域資源であり、保存すべき歴史的建造物であると考えます。所有者は、老朽化を理由に取り壊そうとしたが、解体移築へ判断が変わった。しかし、保存に向けては課題が山積みであり、市の積極的な関与が必要であるが、教会の歴史的・文化的価値をどう捉え、保存と活用についてどう考えるか。

A 本教会は歴史的価値のある地域のシンボルとして大切に保存すべきである。地元住民の要望を受けて所有者と協議し、市民団体による移築保存について調整を図った。移築だからこそできる活用方法を見出し、みがきあげていくことが大切と考えている。

語句説明

北部ルート

災害時などに水を相互に融通できるよう、安倍川を水源とする静岡地区と興津川を水源とする清水地区をつなぐ水道施設。

南部ルート

高松取水場の地下水を草薙配水池へ送水できるように整備された水道施設。

承元寺取水口

興津川に設置され、清水地区で利用される水道水の約6～9割を取水している。

被災者支援のための国保料減免措置

質問者 杉本 護(共産党)

Q 国保料の減免措置の申請期限は、条例で納期限の7日前と定められているが、被災世帯は、日々の復旧に追われて精神的、肉体的な余裕がなく、誰もが期限までに申請できない上に広報も十分ではない。り災証明書も発行まで平均2週間しかかかっていない。突発的な災害時には特別な配慮が必要であり、期限を過ぎても対応すべきと考えるが、いかがか。

A 条例では申請期限の例外は設けられておらず、申請期限を過ぎたものは遡って減免措置を適用できない。国保料の納付が困難となった方については、各世帯の状況に配慮した納付相談に応じる。

語句説明

電動車

動力に電気を使う自動車。EV(電気自動車)、HV(ハイブリッド自動車)、PHEV(プラグインハイブリッド自動車)、FCV(燃料電池自動車)など。

語句説明

カトリック清水教会

フランス出身のドラエ神父が建造に尽力し、清水区の岡地区に昭和10年に建造された、ゴシック様式の木造教会。



海洋文化施設の需要予測

質問者 寺尾 昭 (共産党)

Q 海洋文化施設の最大の課題は、集客と賑わい創出である。落札者の計画通りに入館料収入が確保できない場合、市がロスシエアすることでの公費負担が増えるが、落札者の事業提案における事業費、入館者数や収支はどのようか。また需要予測の受け止めは、併せて、水族館に不可欠な海水の確保については、水質やコストが課題となるが、取水方法はどのようか。

A 事業者は、総事業費を約24.2億円、15年間の入館者数を68.1万人、入館料収入を約72億円と見込んでおり、需要予測は、市の想定と同程度で妥当と考える。海水の取水方法は、主に取水管を地下に埋設し、岸壁から取水する方法が提案されている。

語句説明

ロスシエア

本件において、実収入が契約時に市と事業者で合意した目標値を下回った場合、損失は、基本的には事業者が負担するが、一定の範囲においては事業者と市が折半し負担すること。上回った場合も同様に利益を折半する。

語句説明

民間教育力活用事業

静岡市立小中学校に在学する児童・生徒に対し、ふるさと静岡のすばらしい産業や文化を、様々な専門家や達人から指導を受けけることを通して気付かせるなど、学校外の教育資源活用事業。

4次総におけるSDGsの推進

質問者 長沼 滋雄 (創生静岡)

Q 本市は他都市に先駆けSDGsを市政に組み込むことを掲げ、SDGs未来都市、SDGsハブ都市に選定された。4次総においても、SDGsをまちづくりの方向性と重なるものと位置付けている。持続可能な開発のための2030アジェンダの受け止めと、4次総におけるSDGs推進の基本的な考え方はどうか。

A 市として、アジェンダの主旨を十分に踏まえ、地域課題の解決を通じて、地球規模の課題解決につなげ、国際社会の一員としての責任を果たすことが肝要と考える。4次総においては、SDGs推進を明確に位置付けるとともに、個別分野の計画にもSDGsの考えを組み込むなど全庁を挙げて取り組む。

環境に配慮した農業の推進

質問者 松谷 清 (緑の党)

Q 国は、みどりの食料システム戦略を策定し、また、有機農業が一般的な農業に比べ脱炭素社会に向かう優位性を示した。環境に配慮した農業を推進するためには、減化学農薬や有機農業に取り組み農業者等への財政的支援とあわせ、農業者間で情報共有できるネットワークづくりが重要と考えるがどうか。

A 環境負荷低減に向けた取組を推進するため、環境保全型農業直接支払交付金事業により支援するとともに、必要な資機材の購入経費などを一部助成する市独自の支援策を検討する。また、農業者で組織する協議会で農業者同士がつながり、ネットワークが拡大するよう支援する。

助産師等に学ぶ小学校での性教育

質問者 安竹 信男 (創生静岡)

Q 市内公立小学校で、助産師等による性教育を行っている事例がある。赤ちゃんの誕生という身近なテーマを通し、命の大切さ、心身の成長の様子など、理解しやすく工夫され、子どもたちの心を掴んでいると感じる。助産師等を外部講師として性教育を実施している事例について、どう捉えているのか。

A 外部講師による授業支援は、子どもたちが実感をもって学べる良い機会と考えている。これまでも民間教育力活用事業を実施し、性教育に関しては助産師等が子どもの発達段階に応じた授業支援を行っており、引き続き関係者の支援を受けながら、より効果的な授業が各校で実施されるよう取り組んでいく。

語句説明

みどりの食料システム戦略

持続可能な食料システムの構築に向け、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進するもの。

環境保全型農業直接支払交付金事業

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図るために、環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う事業。

安心して楽しく子育てできる環境

質問者 島 直也 (自民党)

Q 会派から、子ども・子育て支援は重要な政策分野と考えるべきであると政策提言したところ、4次総の5大重点政策の子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進に、安心して楽しく子育てができる環境の整備を行うことが明記され、期待している。安心して楽しく子育てができる環境整備のための取組は。

A 子育て世代の不安を解消し、心にゆとりが生まれ、本市で子どもを生み、育てることが楽しいと感じてもらえる環境が重要であるため、人的支援・経済的支援・環境支援の3つの視点で支援を進めるほか、困難を抱える子ども・若者への支援にも取り組む。

福祉有償運送事業開始に関する支援

質問者 池谷 大輔 (自民党)

Q 一人で公共交通機関の利用が困難な障がい者などを個別輸送する福祉有償運送は、高齢化社会において、免許返納推進等から高まる公共交通の需要にこたえるものでもある。NPO法人等団体が福祉有償運送事業を始めるための手続きと、市のサポートはどのようか。

A 事業を始めるためには①地域の移動ニーズの把握と事業計画等の策定②地域における関係者間の協議③国土交通大臣の登録という手続きが必要である。これらの手続きを進める中で、適宜団体からの相談や求めに応じ適時適切な助言などのサポートを行う。

総括質問ダイジェスト版放送

2月定例会について、下記の日程でコミュニティFMラジオ局での放送を予定しています。

※日程は、変更になる場合があります。

放送局 FM-Hi(76.9MHz) マリンパル(76.3MHz)

日時 令和5年3月6日(月)~10日(金) 午後8時から午後9時まで

音声版・点字版のご案内

目の不自由な方のための

①声の市議会だより(デジター CD版、カセットテープ版)

②市議会だより点字版を作成しています。

ご希望の方は、調査法制課(054)221-1481までお問合せください。

※デジターCD版は、音声をCDに録音したもので、専用の再生機やパソコンで再生できます。

富士市議会から静岡市へ義援金が贈呈されました

台風15号による災害からの復興支援のため、令和4年11月4日、富士市議会から静岡市へ義援金が贈呈されました。この義援金は、富士市議会議員の皆様から寄せられたもので、富士市議会の米山議長から望月議長へ直接手渡されました。



佐藤副議長 望月議長 米山議長(富士市議会) 杉山副議長(富士市議会)



常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

*静岡市総合計画について、基本計画にSDGsの推進が位置づけられたことを評価する。行財政改革等による効率的な行財政運営に取り組み、財政規律を堅持すること。また、経済の活性化につながる企業立地、新しい産業の創出のほか、若者の定着促進などに力を入れ、実施計画に反映させること。そのほか、3次総の課題の整理、検証を行った上で、4次総の取組を進め、世界に輝く静岡の実現に期待するなどの意見があった一方、3次総の総括、検証が不十分であり、定住人口を明確に打ち出していないことなどから、反対するとの意見があった。

市民環境教育委員会

*防犯灯維持費助成について、今後も電気が値上がりする可能性があることから、防犯灯を設置している自治会、町内会の負担が大きくならないよう配慮されたい。
 *災害ボランティア本部運営費助成は、台風15号による災害を教訓に課題の検証を進め、ボランティアの皆さんが活動しやすい環境を整えること。
 *静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例について、不良な生活環境を生じさせた原因者に対し、原因を取り除くための支援に努められたい。
 *城内中学校昇降機整備事業について、1日も早い整備に努めること。また、今後は他の区の中学校への昇降機設置も検討してほしい。

都市建設委員会

*被災住宅応急修理事業について、日常生活を早く取り戻すため着実な事業執行を求める。また、事業手続がわかりにくいという声を聞くので、引き続き被災者に寄り添った対応を求める。
 *大浜公園再整備PFIアドバイザー事業について、事業規模内で確実に成果を出し、市民が誇れる施設となるよう期待する。
 *道路橋りょうなどの公共施設の災害復旧事業について、市民生活の安全・安心を確保するため、着実な事業執行を求める。その他、災害の再発を防ぐため、第三者による検証を求めるとともに、この経験を教訓とした治水、都市計画を進めること。

観光文化経済委員会

*被災中小企業等復旧・再建支援事業費助成について、被災した中小企業等に支援が行き渡るよう周知を徹底し、予算が不足した際は、追加措置を検討すること。また、早期対応に努めるとともに、事業者の負担がないよう申請の簡素化を求める。
 *日本平動物園のローラースライダーは、日本一の長さを誇り人気であったことから、遊具の安全性を確保したうえで、魅力的な動物園となるよう早期復旧を求める。
 *農地災害復旧事業は、農家への負担を少しでも軽減できるよう、助成について柔軟な対応、部局を超えた支援を求める。

厚生委員会

*児童福祉施設災害復旧事業は、園児の安全に配慮するとともに、原状復旧に終わらず、BCPの策定なども含めて対策を講ずること。
 *地方独立行政法人静岡市立静岡病院第3期中期目標の策定は、コロナ禍で静岡病院が大変な状況にあるため、人手不足の解消も含めて、労働環境の改善に対応すること。
 *出産・子育て応援給付金給付事業は、妊婦や子育て家庭にとって大きな助けになると期待しており、これをきっかけに、他都市から注目されるような独自の子育て施策を検討すること。

企業消防委員会

*原油価格・物価高騰の影響に伴う光熱費等の増額について、市民の負担も増えていることから、消防費や水道・下水道会計でも節約し、その取組を市民に理解してもらえよう努めること。
 *常備消防施設及び車両災害復旧事業については、豪雨災害が、今後も発生する恐れがあることから、今回の経験を生かすこと。
 *承元寺取水口機能停止に伴う水源検討業務等については、オープンな場で公正な議論を行い、課題解決に向け、早急に進めること。

11月定例会提出議案の会派別賛否一覧

(○=賛成、×=反対)

件名	会派名							議決結果
	自民党	創生静岡	公明党	志政会	共産党	緑の党	街づくり研究会	
令和4年度補正予算	令和4年度静岡市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市競輪事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市駐車場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市介護保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市介護保険サービス会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度静岡市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度静岡市水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決	
令和4年度静岡市水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決	
令和4年度静岡市下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決	
令和4年度静岡市下水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決	
総合計画	静岡市基本構想について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市基本計画について	○	○	○	○	×	×	可決
条例の制定	静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会議員及び静岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	静岡市職員の給与に関する条例及び静岡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	可決
	静岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	可決
	静岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市教育職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市立小学校及び中学校の教育職員等の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	市道路線の認定について(三保松原町1号線ほか3路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	地方独立行政法人静岡市立静岡病院第3期中期目標の策定について	○	○	○	○	○	○	可決
	当せん金付証券の発売について	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	賛成
	静岡市人事委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
	静岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について(4件)	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	選択的夫婦別姓についての議論を求める意見書	×	×	×	×	○	×	否決
	国民健康保険料の引き下げを求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択
請願	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択

市議会議員と話そう！高校生との意見交換会開催

表紙でも紹介しました意見交換会について、令和4年12月に開催した3校の様子をお知らせします。

静岡双葉高校
12月13日開催



静岡市パートナーシップ宣誓制度や同性婚について

- ◆ パートナーシップ宣誓制度は市民、学校、企業へ周知することと理解、促進につながり、生きづらさを感じている人たちの救いとなる。自治体のこういった施策は差別や偏見をなくす第一歩。
- ◆ 誰一人取り残さないと言いつながら同性婚を認めない法律がよくないのではないか。
- ◆ 性的少数者のことを「LGBTQ」と呼称し、区別していることに違和感がある。
- ◆ 様々な考えを持つ人がいる。啓発が必要。



常葉大学附属橘高校
12月21日開催



静岡市におけるダイバーシティ社会について

- ◆ 障がいを理解するためには小さい頃からの教育が必要だと思ふ。支援学級が必要だと思ふ反面、同じ空間にいないと障がいに対する理解が進まない。
- ◆ ニューヨーク州では2019年1月以降に建設される全ての建物は男性トイレにおむつ交換台をつけることが決まっている。おむつ交換台の設置は男性の育児につながる。スウェーデンの国会議員は男女半々。日本は男性が多い。女性の考えを取り入れるためにもスウェーデンを見習いたい。
- ◆ LGBTQについて、もっと教育に取り入れたらよいと思う。



意見交換会に参加した議員の声

生徒さんの意見を直接聴くことができ、新たな気づきにつながった。問題意識の高さに驚いた。生徒さんの志の実現の一助となるよう社会環境づくりに議員、行政が相まって努力する必要性を痛感した。

静岡市立高校
12月23日開催



高校生活(校則など)

- ◆ 今年度から学校で一人一台タブレットパソコンを使用しているが、無理やり使用している感じがある。もっと自然に活用できるようなカリキュラムがあるといい。
- ◆ 生徒会を中心に校則の見直しをしている。髪染め禁止というのはわかるが、校舎内で防寒着の着用禁止というのは理解できない。
- ◆ 中学時代は私服で、校則も自由を重視されていた。だからといって問題が起きるといふことはなかった。問題を防ぐための校則ならいいが、自由を制限するのは違うのではないか。
- ◆ 「ルールは誰のためにあるのか、何のためにあるのか」という議員の言葉が心に響いた。



次回定例会のお知らせ

2月定例会は、令和5年2月8日からはじまります。日程は次のとおりです。

会期 38日間

開催日	会議名	場所
2月 1日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
2日(木)	議案説明会(補正予算案等)	議場
8日(水)	本会議	議場
	議会運営委員会	第2委員会室
10日(金)	本会議	議場
	厚生委員会	第1委員会室
13日(月)	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
14日(火)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
16日(木)	議案説明会(当初予算案等)	議場
20日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
	本会議	議場
24日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
28日(火)	本会議(総括質問)	議場
3月 1日(水)	本会議(総括質問)	議場
2日(木)	本会議(総括質問)	議場
3日(金)	本会議(総括質問)	議場
7日(火)	総務委員会	第1委員会室
8日(水)	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
9日(木)	厚生委員会	第1委員会室
10日(金)	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
16日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
17日(金)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)

※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。



市議会クイズ

【問題】

この写真は議場にある電光掲示板です。「発言残時間」とは何の残り時間でしょうか。

1. 市長答弁
2. 議員1人当たりの質問
3. 本会議



※答えは最下段右参照

皆さんの声をお聞かせください！市議会だよりのアンケートを実施

静岡市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指しています。

そこで、より見やすく、読みやすい市議会だよりとするため、皆さんのご意見を募集しています。

右のQRコードを読み込み、ご回答ください。(質問は5問程度です。)



清水エスパルス 正副議長表敬訪問

令和4年11月7日に清水エスパルスの山室社長、ゼリカルド監督、キャプテンで2022 FIFAワールドカップ日本代表の権田選手が2022シーズン終了の報告に望月議長と佐藤副議長を表敬訪問しました。

山室社長らは、「J2降格という残念な結果となり申し訳ない。J1復帰に向け精一杯努力し、サッカーのまち静岡にふさわしいチームとなるよう頑張る。引き続き応援をいただきたい。」と語り、望月議長、佐藤副議長からは、労いと激励の言葉とともに、台風15号で被災した現場の復旧や給水作業などにお力添えいただいたことに対して感謝の言葉が述べられました。

市議会は、清水エスパルスを応援します！



ゼリカルド監督 山室社長 望月議長 佐藤副議長 権田選手

次回、「しずおか市議会だより(令和5年2月定例会号)」は令和5年6月1日発行予定です。

(編集元) 静岡市議会事務局 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

議会総務課 ☎(054)221-1158

議事課 ☎(054)221-1159

調査法制課 ☎(054)221-1481 FAX.(054)251-9213

静岡市議会

検索



静岡市議会 ホームページアドレス https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html